

福島大学人間発達文化学類同窓吾峰会 会津支部広報

発行者 会津支部長 渡部 裕二
第 5 号
発行日 令和 7 年 3 月 1 日

再び教育学部に

副支部長 神指地区 岩沢 隆（昭和 44 年卒）



既にご存じだと思いますが、過日、母校福島大学の大規模な全学再編が発表されました。教員不足や志願者減少に対応するために、人間発達文化学類は教育学部に変更されるそうです。その後、現在の「芸術・表現コース」が廃止の方向で調整されるという報道がありました。

私は、学芸学部の最後の入学生で、翌年度に教育学部に学部名が変更されました。その後、人間発達文化学類に名称が変更され現在に至っています。

同窓吾峰会本会は、大学入学時に入学金・終身会費を納入し、卒業と同時に全員が本会員になりますが、支部の会員は支部内の学校等に在籍している人や退職している人に限られていて、その中でも入会しない人や一度入会しても脱会する人もいます。特に現在の学類名になってから教職に就く人も少なくなり、支部会員も減少していることは残念に思っています。

少子化が進む中、時代の要請に応じてきた母校の改革に、これからも関心をもっていきたいと思っています。

同窓吾峰会いわき大会に参加して

事務局次長 一箕地区 渡部 隆一（昭和 53 年卒）

10 月 12 日（土）に、「同窓吾峰会いわき大会」が、スパリゾートハワイアンズを会場に開催されました。会津支部からは渡部裕二支部長、齋藤幸男副支部長、神内富美子会計と私の 4 名で参加してきました。

最初に「開会行事」が行われました。いわき大会実行委員長の挨拶の後、物故者に対する黙祷、福島大学学生歌斉唱（学生歌を歌うといつも学生時代を思い出します）。続いて、峯島同窓吾峰会長から令和 7 年 1 月に発行する会員名簿の話がありました。また、福島大学人間発達文化学類長（代理）からは、令和 9 年度から現在の人間発達文化学類から教育学部になる予定との話がありました。

「昼食・交流」では、昼食を食べながら支部毎に交流しました。例年、講演会の後、懇親会を実施して他支部との交流を図っていましたが、今回は昼食の中での交流でしたので、他支部との交流は難しかったです。

「講演」では、アクアマリンふくしま館長の古川 健様が、「アクアマリン 子ども達の未来を拓く水族館」という演題で講演されました。アクアマリンの基本理念は「海を通して人と未来を考える」、展示テーマは「潮目の海」。平成 23 年 3 月 11 日の「東日本大震災」発生時の館内の様子（館内 1 階部分浸水）とその後の災害対応（水槽の破損、地盤沈下、地割れ、海獣類の搬出等）の話がありました。水族館の災害対応の大変さを実感しました。

「アトラクション」では、東日本国際大学附属昌平高等学校の昌平ウイラニ・ホア・ヘレの皆様が、フラダンスを披露してくださいました。ウイラニ・ホア・ヘレとは、ハワイ語で「陽気な仲間」という意味だそうです。

コロナ禍の後、同窓吾峰会も会の持ち方が変わり、これからは今回のいわき大会がモデルになるのかなと感じてきました。



会場入り口での記念写真



華麗なフラダンスを堪能しました

<退職会員だより>

二つのキャンパス

河東地区 兼子 栄一(昭和 58 年卒)



昨年 9 月、福島民報に「福島大学学群学類制から学部学科制へ移行」という記事が出ていました。これは大きな変革だと思っています。

振り返って、私が福島大学に入学した年も大学の大きな変革期で、キャンパスが浜田町から金谷川へ移る前年でした。浜田町キャンパスは今の福島東高の場所にあつて、木造の古い小学校のような校舎がいくつも並ぶ佇まいに、「えっ、これが大学？」と驚いたことを覚えています。教官室に入ると、古い窓から薄暗い部屋にさす日の光、壁にぎっしり並んだ本、机の上にも山積の本、床は軋み、古本と飲み終えたコーヒーが混じった独特な匂い…、まるでハリーポッターの世界でした。

二年生になると、市内の下宿から電車で金谷川へ通いました。駅から坂を上がってキャンパスに入ると、工事現場に中央講義棟、教官棟、学生協の建物がぽつんと建っているだけ。周りは林。講義が終われば電車の時間まで学生協に行って友達としゃべっているか一人ぼんやり林を見ているか…。毎日毎日その繰り返しだったように思います。娘が福大に合格して約 25 年ぶりに金谷川キャンパスを訪れた時、思わず「大学らしくなったなあ」と声を上げました。

今、二つのキャンパスを思い起こして、当時は正直なところ、両方ともあまり好きではありませんでした。しかし、今はそれぞれをととても懐かしく思い出します。それは、自分が老いを迎えたということなのかもしれません。

次回は、門田地区 星 善樹さん、東山小学校 大東亮介先生です。

「会員の声」から

○ 会津支部会員名簿があるとうれしいです (昔はいただいていたのですが・・・)

かつては支部会員の名簿を作成し、会員全員に配付していました。しかし、個人情報保護法などの時代の流れの中で、名簿配付は廃止となりました。ご理解ください。ただ、事務局として支部会員名簿を作成しています。また、本部作成の会員名簿ももっています。貸し出しはできませんがご覧いただくことは可能です (但し、個人情報に配慮して)。必要な方は下記まで連絡下さい。

【支部長(渡部)080-1689-8304 事務局長(大越)080-5563-5020】

○ 95 歳のお祝(賀寿)の贈呈から

戦時中に学生時代を過ごされ、戦後の復興期に福島県の教育を支えてこられた方々で、大変苦勞の多かった年代の皆様です。しかし、児童生徒や保護者、地域との絆が大変深い時代で、たくさんの思い出話を興味深く聞かせていただいています。



教室に季節ごとの写真を掲示しています



岩沢副支部長から渡部幸久様に賀寿贈呈の様子

令和 7 年度支部総会・講演会・懇親会のお知らせ

○令和 7 年 5 月 11 日 (日) 午後 2 時～6 時 30 分

○ルネッサンス中の島

○講演は、福島大学准教授高橋純一先生による「発達に特性をもつ子どもと向き合う」です。多くの会員の皆さまの参加をお待ちしています。会員でない方で希望する方の参加も大歓迎です。

<編集後記>

福島大学は、令和 9 年度に現行の 3 学群 5 学類から 4 学部制へ再編され、教育学部が 23 年ぶりに復活するそうです。みなさんもこれを機会に、大学当時の仲間と連絡を取り合い、昔話に花を咲かせてみませんか。(小林 義弘 昭和 62 年卒)